

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年7月5日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、補足説明をさせていただきます。

1ページ目については、補足はございません。

2ページ目下段になります。7月9日火曜日、(5) 第742回の審査会合が午前中から午後にかけて開催される予定でございます。審査の議題は、3件予定されてございます。

まず、関西電力の高浜発電所1号、2号、3号、4号炉について、個別の許可申請についての審査が予定されております。内容は、使用済燃料プールにつきまして、制御棒を用いずに保管ができるようにするという許可の申請が提出されております。これについての審査ということで、まず、概要についてお聞きする予定でございます。

次に、2件目といたしまして、ここから昼食後ということになるかと存じますが、昼休みの後ということになるかと存じますが、2件目は、BWR関係各社の合同の審査という形で、保安規定の基本方針についての審査が行われる予定でございます。こちらは既に審査を重ねてきております。コメント回答の予定でございます。

次に、3件目といたしまして、中国電力・島根発電所2号炉についての審査が予定されております。重大事故対策の有効性評価について、コメント回答が行われる予定でございます。

次に、3ページ目上段になります。(6)、こちらは同日7月9日でございますが、令和元年度第2回原子力規制委員会行政事業レビューに係る外部有識者会合が、午後に開催される予定でございます。行政事業レビューのプロセスの中での会合でございます。先日6月中旬に公開プロセスが行われたところですが、その対象になっていない点検対象事業についてのレビューが行われる予定でございます。説明を行い、質問、コメント等をいただくという予定でございます。

次に、その下になります。7月10日水曜日、(8) 第289回の核燃料施設等に関する審査会合が午後に開催される予定でございます。議題は、日本原燃の廃棄物埋設施設についての事業変更許可申請に係る審査が予定されております。これまでの指摘について、順次回答をお聞きしているところであり、今回もその審査が行われる予定でございます。

次に、同じく3ページ目の下段です。7月11日木曜日、(10)、11日木曜日の10時半から原子力規制庁の長官の就任会見を行う予定でございます。既にお知らせしておりますとおり、7月9日付をもちまして、現在、次長を務めております荻野が長官に任命される予定となっております。これを受けまして、長官の就任会見を行うというものでございます。

次に、その下、(11)第743回の審査会合が同日午前中に行われる予定でございます。こちらは特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開にて開催をさせていただきます。審査の案件は、関西電力・大飯発電所3号機、4号機の特重施設についての審査でございます。

次に、4ページ目上段でございます。7月12日金曜日、(12)第290回の核燃料施設等に関する審査会合が午前中に開催される予定でございます。議題は、記載のとおり、日本原燃の再処理施設・廃棄物管理施設・MOX燃料加工施設の地震等に関する新規制基準適合性の審査の予定でございます。こちらは前回5月24日の審査会合での議論・審査を踏まえまして、想定火山灰層厚についてのシミュレーションの結果について、報告を受ける予定でございます。また、出戸西方断層の追加調査について、こちらはまだ調査の途中でございますが、その状況についてもお聞きする予定でございます。

次に、その下、(13)第744回の審査会合が同日の午後に開催される予定でございます。こちらは特定重大事故等対処施設の審査のため、非公開とさせていただきます。審査の対象は、記載されております関西電力・美浜発電所3号炉の特重施設に係る審査のうち、地震・津波に関する部分についての審査の予定でございます。

次に、日程に記載はございませんが、日程に関連いたしまして、1件お知らせをさせていただきます。

既にホームページ上で公表してお知らせをしておりますけれども、原子力規制委員会では、ワークライフバランス推進の取り組みの一環ということで、7月から9月までの期間、いわゆる「ゆう活」の取り組みということで、例えば夕方遅くの会議の設定を見合わせるといった取り組みを行うこととしております。その一環といたしまして、8月7日及び14日につきましては、原子力規制委員会の定例会を、特別の事案がない限り、休会とする予定としてございます。この点、お知らせをさせていただきます。

最後に、日程とは関係はございませんけれども、1点御報告をさせていただきます。

これは私事になりますけれども、9日付の人事異動によりまして総務課長の職を離れるということになりました。したがって、規制庁のブリーフィングを私が担当いたしますのは本日が最後ということになります。9日からは新たに総務課長が着任をいたしまして、ブリーフィングを実施していくという予定でございます。

私といたしましては、2年間、規制庁のブリーフィングを担当させていただきました。不慣れな職務でもございましたこともありまして、不十分な点や分かりにくい点多々あったかと存じますが、この間、御出席の記者の皆様から様々な質問、いろいろな場面

で頂戴いたしました。そうした質問をいただくということが、私どもとして広く情報をお伝えしていくという上で大変役に立った、助けられたというふうに感じておりますし、また、私としても大変勉強になったところでございます。この場をお借りして皆様に感謝を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

私からは以上でございます。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ワタナベさん。

○記者 時事通信のワタナベと申します。よろしく申し上げます。

4ページ目、12日、(12)の核燃料施設の審査についてですけれども、先ほど出戸西方断層の審査についても議題に入っていたかと思うのですけれども、日本原燃側はボーリング調査自体は既に終わったというようなことを発表していて、今、データを取りまとめているということなのですけれども、12日の段階では、まだ最終的な結論には達しない、途中経過の報告のみになる予定なのでしょうか。

○大熊総務課長 今お話がございましたように、追加調査ということでボーリング調査を行っております、それがかなり進んでいるということをお聞きしております。その調査の状況についてお聞きするというので、最終的な取りまとめたものはまだであるというふうに承知しています。途中経過の状況を、審査会合を開催しますので、確認させていただくという予定だと承知しております。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 ヨシノさん。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

1点だけですが、7月10日の核燃料施設の新規制基準の審査会合ですけれども、これは一旦、再処理施設も議題に入っていたけれども、抜けたという感じだったように記憶しているのですけれども、これは何か理由があったのでしょうか。

○大熊総務課長 御質問は、この10日の(8)の審査会合の議題に入っていたのではないかという質問でしょうか。

○記者 一旦入って、何か抜けたみたいな感じだと思うのですが。

○大熊総務課長 ちょっとそのようには承知をしておりますが、7月10日ですね。そうですか。済みません。私もちょっと聞いておりませんでしたけれども、日程上の問題であろうと存じます。それ以上の何か事情があったということは、報告を受けておりません。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますか。シゲタさん。

○記者 NHK、シゲタです。

2年間お疲れさまでした。やはり報道官という仕事というのは、福島第一原発の事故を教訓にしても、やはり我々、ふだん1週間に2回、ブリーフィングだけでなく、トラブルが起きたら、我々とちゃんと対峙してレクチャーを行って、どうなっているのだということに答える責務が大きい仕事だったと思うのですけれども、改めて2年間、どういう2年間だったか、その御所感と、後任に対してどういうことを徹底してほしいということ、きちんと守ってほしい、そういったメッセージがあれば、お伺いしてもよろしいでしょうか。

○大熊総務課長 いろいろなお言葉とともに質問をいただいて、ありがとうございます。今、御質問の中でもございましたけれども、原子力規制を着実に実施し、そのことについて広く国民の方にしっかり正確にお伝えしていくというのは、本当に重要な職務だと思いましたが、現在も思っております。

元々技術系では、私は、ないわけですがけれども、技術的な側面も多いことについて、それをなるべく分かりやすく、しかし、何よりも間違っていない形でお伝えするというのは、私自身にとってもなかなか簡単ではない、難しい役割だったというふうに感じています。その中で、間違いがない中でも、できる範囲で、十分だったとは言えないかもしれませんが、しっかりお答えをして、御説明をしていくようにということで、私なりに努力をしてきたというつもりでございます。

これが、一応、役割が果たせてきましたのは、先ほども申しましたが、皆さんに様々な御質問をいただいたということによることも多いですし、また、組織の中で非常に様々な関係者に助けられたなと思っております。

後任については、しっかりした者がちゃんと着任することだと思っておりますので、またその者の考えでしっかり実施してくれることと思っておりますけれども、今、私が申し上げたような、情報を正確に、しかも、分かりやすく伝えていくということは、私が申し上げるまでもなく、重視しながら務めていただけるものというふうに考えております。

○記者 ありがとうございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—